

令和2年度 組織・連携委員会だより

N O . 1

北海道PTA連合会

令和2年8月20日（木）発行

令和2年7月18日（土）に第1回委員会が開催されました。その内容をお知らせ致します。

1. 組織・連携委員会では、令和2年度、次のような内容で研究を進めていきます。

1 研究テーマ

『ともに学び、行動し、連携するPTA活動と活性化のための組織の在り方』

2 研究の視点

研究テーマを追究するためには、委員会がこれまでの成果を踏まえ、各PTA活動の推進に役立つ有効な情報を主体的に発信することが重要であることから、次の2つの視点に基づき活動を進める。

*持続可能な子育て支援体制におけるPTA組織の在り方

*学校・家庭・地域が一体となって子どもを支える連携・協働体制の確立

3 研究の内容

(1) これまでの成果と具体的な課題

【これまでの成果】

- コミュニティ・スクール制度の進捗状況に関する情報交流ができた。また、昨年度の道PTA研究大会札幌大会での研修を通して、コミュニティ・スクール制度の様々な効果を改めて学ぶことができた。
- PTAが実際に関わることにより、コミュニティ・スクール制度並びにPTA活動が活性化された。
- 各地区の活動を交流していく中で、持続可能なPTA組織の在り方に関する問題の本質に少しずつせまることができた。

【具体的な課題】

- 成果の中にもあるコミュニティ・スクールに関して学んだことを実践していく必要がある。そのためにも、まずは学校・家庭・地域が一体となって子どもを支える連携・協働体制（組織）を確立することが喫緊の課題となる。
- PTA組織や活動を取り巻く全道の現況を整理し、問題点・課題等を明確にし、持続可能

なPTA組織や活動の活性化へ向けた取組・改善策を究明していかなければならない。

(2) 今年度の研究の方向性

上記の課題の解決に向け、今年度は、次の3点を中心に研究協議を進める。

ア 昨年度実施したアンケート結果をもとに、PTA組織や活動を取り巻く全道の現況を整理し、問題点・課題等を明確にし、持続可能な子育て支援体制におけるPTA組織の在り方や活動の活性化へ向けた取組・改善策を探る。

イ 学校・家庭・地域が一体となって子どもを支える連携・協働体制の構築へ向け、PTA組織の維持・充実の仕方について協議を重ね、子どもを取り巻くすべての大人が子育てに関わる体制づくりについて研究する。

ウ 令和3年度の研究大会に向け、発表テーマの見通しについて検討し、提言発表事例を選出・決定して、発表依頼をする。

2. 次の方々が道P連組織・連携委員会の研究を推進しています。(敬称略)

委員長	①後藤 一 樹 (副会長・石狩)	
副委員長	④金 田 貴 彦 (副会長・南空知)	
	山 村 健 史 (副会長・道小校長会)	
	鈴 木 喜代志 (教師代表・小樽市立桂岡小学校長)	
委 員	①廣瀬 堅一 (小樽市)	②塚崎 知史 (上川北部)
	②安藤 英樹 (旭川市)	②松浦 幸太 (宗谷)
	③栃木 正則 (渡島)	④川村 信康 (胆振西部)
	④森 政人 (日高)	⑤笹森 伸治 (オホーツク中部)
	⑤柿崎 史裕 (釧路)	

*①②③④⑤は、ブロックを表しています。

*これまでの取組は、道P連のホームページの「委員会」をご覧ください。

北海道PTA連合会事務局

〒060-0001 札幌市中央区北1条西3丁目3番地22 STV時計台通ビル6階

TEL (011)251-6937 FAX (011)210-0929

Eメールアドレス info@hokkaido-pta.jp